

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 10月 2日(月曜日)
------------------	-----	-------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	大井、吉村、山田、佐々木、坂本、杉本、サンジット、渡部、黒田、渡辺
--------------------	------	-----------------------------------

## I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	5	2	0	10
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	4	1	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	3	2	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	4	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	4	1	0	10

## II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員がリーダー会議までに利用者情報の変化等についてケアマネに報告する。</li> <li>利用者情報を修正・更新した場合は、リーダー等に報告し、リーダー会議と全体会議で共有する。</li> </ul>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている Cあまりできていない D:まったくできていない
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者に変化があった場合は、ケアマネに報告できている。</li> <li>ケアマネ同士の情報共有やリーダー等と話し合うこともできており、会議でも情報共有ができています。</li> </ul>
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>突発的な変更があった場合、職員から情報が入ってこないなど、情報共有ができていない (総合記録シートや日報への記載はあり)。</li> </ul>

・ケアマネへの必要事項の報告が十分にできていないことがあった。

### Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

- ・突発的な諸変更があっても、しっかりと情報共有できるように、情報を得た職員は速やかにケアマネやリーダー等に報告する。
- ・新規利用者の受け入れ準備としての情報共有はできているため、今回については他に改善点が特に無かった。

### Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・引き続き、各職員がリーダー会議までに利用者情報の変化等についてケアマネに報告する。
- ・引き続き、利用者情報を修正・更新した場合は、リーダー等に報告し、リーダー会議と全体会議で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 2日(月曜日)

--

--	--

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)
------------------------

メンバー	大井、吉村、山田、佐々木、坂本、杉本、サンジット、渡部、黒田、渡辺
------	-----------------------------------

### I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	1	8	1	10
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	2	6	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	2	7	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	5	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか?	2	2	6	0	10

### II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当職員はケアプランを確認した上でアセスメントを行ない、それをケアマネに報告する。</li><li>・担当職員とケアマネが話し合うために、十分な時間を設ける。</li></ul>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A: よくできている B: おおむねできている <b>C: あまりできていない</b> D: まったくできていない
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当職員とのアセスメント (利用者の状況確認) はできていなかったこともあったが、おおむね職員同士で日々のケアについての検討・変更はできていた。</li></ul>
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当職員とケアマネが話し合う時間を作ることができていない。</li><li>・職員のケアプランへの理解が不十分だと感じるがあった。</li></ul>

### III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

- ・すべての利用者の「～したい」や「本人の目標」を把握することができていない。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

- ・担当職員の役割を整理して再確認する。
- ・ケアプランを確認した上でアセスメントを行い、その結果をケアマネに報告する流れを作る。
- ・担当職員とケアマネが話し合う時間を意識して作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 2日(月曜日)

--

--	--

3. 日常生活の支援
------------

メンバー	大井、吉村、山田、佐々木、坂本、杉本、サンジット、渡部、黒田、渡辺
------	-----------------------------------

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	4	2	1	10
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	5	4	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	5	0	1	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	3	3	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	4	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	3	2	0	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者一人一人への理解を深め、心身の変化や利用者の状況、思いを踏まえたサービス提供につなげる。</li> <li>・利用者が過ごしやすい環境を作るための話し合いの機会を増やす。</li> <li>・改めて「利用者本位」の支援方法をしっかりと踏まえ、職員本位・事業所本位にならないようにする。</li> </ul>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の心身の変化や状況については、ミーティングやリーダー会議で常に話し合い、情報共有・把握をしている。</li> </ul>

・利用者個々の希望を理解し、よりそい、ケア方法を変更する時には利用者本位であることを第一に意識している。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点

・上記の流れで決めた事項について、統一したケアにつながっていないことがある。  
・利用者本位ではなく、職員本位、事業所本位になってしまっていることがあるので、その部分を反省し、より利用者本位の支援に修正していく必要がある。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

・本人が自宅でどのように生活していたかを理解するための生活歴の把握が不十分。  
・利用者の希望・思いをより深く理解するための「声にならない声」を引き出せていない。  
・コロナや急激な気候変動（長引く猛暑など）があり、職員全体で利用者の体調の変化に慎重にかかわっていく必要性がより高まっている。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

・「利用者本位」であることをケアの中心として強く意識する。  
・利用者の気持ちや体調の小さな変化なども理解するために、細かくアンテナを張り、そこで得たことは職員同士で情報をしっかりと共有し、ケア方法の見直し検討につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式
------------------

実施日	令和 5年 10月 2日(月曜日)
-----	-------------------

4. 地域での暮らしの支援
---------------

メンバー	大井、吉村、山田、佐々木、坂本、杉本、サンジット、渡部、黒田、渡辺
------	-----------------------------------

### I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	5	0	1	10
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	5	1	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	4	2	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	4	1	2	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	3	4	1	10

### II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策を継続しつつ、コロナ禍であっても利用者が楽しみを持てるような取り組みをしていく。</li> <li>・感染防止対策の他にも少人数に分けるなどの工夫をしながら、地域とのつながりを回復できるようにする。</li> </ul>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが5類になる等、緩和された部分もあるが、コロナに限らず、一般的な感染症対策として引き続き消毒や必要に応じてマスク着用をしている。</li> <li>・(終息しつつあるが) コロナ禍でも利用者の楽しみ(買い物やデイや遠足など)を行っている。</li> <li>・コロナ禍の深刻な状況に比べると、オレンジカフェや他の行事にも地域の方々の参加が戻りつつある。</li> </ul>

④ 前回の改善計画に対する取組み結果  
について、できていない点

・地域行事を行う時期の検討はこれからの課題となっている（例：猛暑日が頻発していたが夏に屋外行事を取りやめる判断ができなかった）。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I－①～④、及びその他について改善が必  
要な点

・利用者の「今までの生活」について、理解を深める必要がある。  
・面会がコロナ前に戻り、家族とのつながりが増えているため、家族を通じて利用者の状況を把握できるようにする。  
・長期の利用者も多く、認知症進行などで以前の生活スタイルを維持が難しくなるケースもあるので、支援の方向性を検討するために利用者状況のより深い理解が必要。  
・家族や介護者についても、高齢化、障がい、独居などの要因により、複雑化するケースが増えているので、利用者と周辺の状態を理解する必要がある。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ－④、Ⅲを中心に導き出した結果

・行事を開催する時期の見直し（猛暑を避ける等）。  
・介護サービス以外のサービス（あんしんサポートセンターの事業等）などと連携し、利用者が安心して暮らせる環境づくりを支援する。  
・近隣・地域住民の方々と利用者・事業所のつながりを大切にして、利用者と地域とのつながりが途切れなく、本別町で暮らしていけるよう支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 2日(月曜日)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大井、吉村、山田、佐々木、坂本、杉本、サンジット、渡部、黒田、渡辺

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	3	4	0	10
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	5	2	3	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	2	0	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	4	1	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	4	1	0	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、利用者への個別支援対応ができる環境をつくる。</li> <li>引き続き、ケアプランの見直しをより積極的に行い、必要に応じて適切な介護等サービスを検討する。</li> <li>利用者とその家族への理解をより深め、利用者と家族のニーズに沿ったサービスを提供していくよう心掛ける。</li> </ul>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼすべての利用者に対して、個別支援を実施している。</li> <li>ほぼすべての利用者に対して、ケアプランの適切な見直しができている。</li> </ul>

④ 前回の改善計画に対する取組み結果  
について、できていない点

- ・個別支援が十分にできていない場合がある（1名）。
- ・ケアプランの見直しができていない場合がある（1名）。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I－①～④、及びその他について改善が必  
要な点

- ・地域にある資源を十分に把握できていないので、支援に活かすことができていない。
- ・地域にはどのような資源があるか、どのような資源が不足しているかを把握する必要がある。
- ・上記2点について、地域資源の情報を事業所内で理解し、共有する必要がある。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ－④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ケアプランを見直し、個別支援につなげるために、ケアプランに沿った記録を作っていく。
- ・地域の資源を十分に活用して支援できるよう、資源を把握・共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 2日(月曜日)

6. 連携・協働

メンバー 大井、吉村、山田、佐々木、坂本、杉本、サンジット、渡部、黒田、渡辺

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	5	4	0	10
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	5	1	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	4	3	2	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	4	3	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	5	1	1	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策を講じながら、事業所が地域に出向く取組みをする。</li> <li>・地域住民や子どもたちとの交流の場を作る。</li> </ul>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている <b>B:おおむねできている</b> C:あまりできていない D:まったくできていない
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ関連の制限がゆるやかになっているが、総合的な感染防止対策は重要であるため、対策を講じながら、事業所外に出向く機会を戻している。</li> <li>・例年になく猛暑日が長引いたためエアコンを活用し、屋内開催ではあるが、夏祭りを開催できた。夏祭りを通して、ささやかではあるが地域住民との交流の機会を作ることができた。</li> </ul>

④ 前回の改善計画に対する取組み結果  
について、できていない点

- ・猛暑のため夏祭りは事業所開催となったが、地域との協働や子どもたちとの交流が十分できなかった。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必  
要な点

- ・子どもたちと利用者・事業所との交流の場を作っていく。
- ・夏祭り等の行事の開催時期を見直す必要がある（例：猛暑日が過酷であるため、時期を変更して過ごしやすい時期に屋外で祭り等を開催するなど）。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・総合的な感染防止対策、急激に変化する気候への対応を考慮しながら、地域住民との交流、特に子どもたちとの交流の場を作っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式
------------------

実施日	令和 5年 10月 2日(月曜日)
-----	-------------------

7. 運営
-------

メンバー	大井、吉村、山田、佐々木、坂本、杉本、サンジット、渡部、黒田、渡辺
------	-----------------------------------

### I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	6	0	1	10
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	3	5	1	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	5	0	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	6	0	1	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	2	7	0	1	10

### II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、広報を活用し、事業所を知ってもらう機会を作る。</li> <li>引き続き、夏祭りやオレンジカフェなど、地域交流行事を開催できるよう工夫する。</li> <li>清流の里が介護と困りごと相談を気軽にできる拠点のひとつであることのPRをより強化する。</li> </ul>
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>清流の里だよりを定期的に発行できている。</li> <li>猛暑により屋内で規模縮小開催になったものの、夏祭りを開催し、地域との交流ができている。</li> <li>継続的にオレンジカフェを開催できている。</li> <li>社協だより「あしたの福祉」のお知らせ欄を使って事業所の行事等のお知らせを周知できている。</li> <li>苦情等があった場合は、会議等で反映し、すぐに対応できている。</li> <li>地域とのつながりを維持・強化することの大切さを職員間でも共有できている。</li> </ul>

④ 前回の改善計画に対する取組み結果  
について、できていない点

- ・オレンジカフェの参加者がいつも同じ顔ぶれになっているので、PRの見直しが必要である。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必  
要な点

- ・オレンジカフェの参加者がいつも同じ顔ぶれになってきているので、より広くアプローチをする。
- ・本別町でもオレンジカフェを開催しているので、そこに参加したり、協力し合うことも検討していく。これにより、より多くの方に参加していただけるような流れを作る。
- ・介護事業所であると同時に地域の困りごと相談窓口、交流の場であるという事業所のあり方について職員全体で意識を共有する。
- ・事業所に対して、苦情を含めていろんな意見を寄せやすいような流れを作る必要がある。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・今後、本別町で開催するオレンジカフェに参加・協力を検討する。
- ・コロナ前の状況を超えるように、地域とのつながりをより強化していく。
- ・引き続き、広報を活用し、事業所を知ってもらう機会を作る。
- ・清流の里が介護と困りごと相談を気軽にできる拠点のひとつであることのPRをより強化する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 2日(月曜日)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大井、吉村、山田、佐々木、坂本、杉本、サンジット、渡部、黒田、渡辺

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	2	3	1	10
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8	1	0	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	1	0	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	4	2	2	2	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	2	2	1	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議以外の地域会議にも参加する。</li> <li>・研修等で得た知識・技術等を全体に周知する。</li> <li>・研修に参加できない場合でも動画や資料等を見て内容を確認できるようにする。</li> </ul>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加した後、参加した職員からの話を聞いたり、資料を回覧することで、研修内容を共有できている。</li> <li>・研修で得た知識・技術を支援の中で実践するようにしている。また、研修内容をどのように仕事に活かせるかを全体会議等で話し合っている。</li> </ul>
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員によっては、特定の会議や研修にしか参加できていない場合がある。</li> </ul>

### Ⅲ. 現状の取組みについて

I－①～④、及びその他について改善が必要な点

- ・毎月、全体会議で研修を実施している。
- ・ヒヤリハットの内容をリーダー会議等で振り返り、リスクマネジメント強化に努めている。

### Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ－④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・職員の意識向上や、より良い介護・支援を提供するために、積極的に研修等に参加してスキルアップを図る。
- ・引き続き、運営推進会議以外の地域会議にも参加する。
- ・引き続き、研修等で得た知識・技術等を全体に周知する。
- ・引き続き、研修に参加できない場合でも動画や資料等を見て内容を確認できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 10月 2日(月曜日)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大井、吉村、山田、佐々木、坂本、杉本、サンジット、渡部、黒田、渡辺

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	3	3	0	10
①	身体拘束をしていない	7	2	1	0	10
②	虐待は行われていない	7	1	2	0	10
③	プライバシーが守られている	5	2	3	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	1	2	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	1	3	0	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチロックにならぬよう注意しながら、利用者への声掛けを行ない、職員全員で利用者に関わるようにする。</li> <li>・職員同士がお互いに改善点を指摘しあえるような関係性を作る。</li> </ul> <p>※「スピーチロック」とは・・・</p> <p>「スピーチロック」とは、介護者の言葉によって利用者の身体的・精神的な行動を抑制することです。「言葉の拘束」とも呼ばれています。介護する側が何気なく使っている言葉や声掛け（例：「ちょっと待っててください」「座っててください」など）によって、利用者の言動が抑制されてしまうことがあります。したがって、実質的な拘束となってしまうのです。</p>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	<p>A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない</p>
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	

- ・スピーチロックにならないように、声のかけ方に気を付けている。
- ・身体拘束や虐待にならないか常に考えてケアをしている。「これは拘束にあたるのではないか」とケア内容について迷う場合には、対応した職員とも話をし、他にどのような方法があるかを話し合うようにしている。
- ・職員同士で何が改善できるかなど、全員で会議等の中で話している。
- ・利用者が嫌な気持ちになるような言葉を使わないように心がけており、職員同士でも日頃から気を付けている。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点

- ・改善すべき点について、職員によっては行動に移せない場合がある。
- ・虐待や身体拘束について、十分理解はしていても、ケアの場面で突発的に適切とは言えない方法をとってしまうケースが見られる。
- ・利用者とのトラブル等があった場合、利用者に聞こえるような場所でそのことを話していることがあり、会話音量が大きくて利用者本人に聞こえてしまっているのではないかと感じるがあった。
- ・ある利用者の介助中に、他の利用者から呼ばれると「ちょっと待っててください」とスピーチロックしていることがある。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

- ・身体拘束になっていないか？虐待になっていないか？プライバシーは守られているか？常に考えながら行動する必要がある。
- ・「自分を先にケアしてほしい」というタイプの利用者さんとはしっかりと信頼関係を構築し、利用者の行動パターンを把握することで、待つ力を身に着けられるようにする。
- ・利用者へのケアについて、その方法が適切だったか（拘束・虐待等には当たらないか）を提起・協議できる職員間の人間関係を作っていくことが必要。
- ・利用者の話（特にトラブルやプライバシー等、利用者に聞かれてはいけない話）については、現状では利用者に聞こえないように、あいの里交流センターで話している。しかし、利用者に聞こえてしまう場所（事業所内の事務スペース等）で利用者のプライバシーにかかわる話をしてしまう場合があるので、これを改め、利用者のプライバシー保護の重要性について理解を深める必要がある。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・今までより更に、職員同士で改善点を指摘し合えるような信頼関係を構築する。
- ・利用者の行動抑制にならないように、命令口調ではなく優しい口調かつ具体的な内容を伝えるよう努める。たとえば、「ちょっと待っててください」ではなく、「今から5分待っていただけますか」「お待たせして申し訳ありません。今からすぐに伺いますね」など、利用者目線に立って、時間や状況をわかりやすく明確に伝えるようにする。
- ・利用者についての話は、利用者に聞こえないところに場所を移して議題にすることを徹底する（ただし、利用者にとってプライバシー保護の必要がない良い話題についてはあえて利用者の前ですることもある）。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同建物内に地域交流施設があり、利用者は知人との繋がりが持てる。</li> <li>・地域自治会に参加しており、年2回地域交流事業を実施したり、災害時の避難訓練を合同で実施。</li> <li>・利用者一人一人の夢をかなえるため、職員は利用者に寄りそった介護ができています。</li> <li>・障がい者（児）の基準該当短期入所サービス受け入れの実施。</li> </ul>
事業所名	本別北小規模多機能型 居宅介護事業所 「清流の里」	管理者	大井正栄		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見等	今回の改善計画
A. 事業所のしつらえ・環境	<p>コロナ関連の事項が緩和されていくことを踏まえながら、感染防止対策を継続する。</p> <p>引き続き、来客時には、職員から積極的に声掛けし、来所者の動線を導く。</p> <p>困りごと相談があった際のプライバシー配慮のために、建物内で空いているところすべてを柔軟に活用していく。</p>	<p>コロナだけではなく、総合的な感染防止として引き続き手指消毒等をおこなっている。</p> <p>来客時には職員から積極的に声をかけるようにしている。</p> <p>相談があった際は、あいの里のスペースも利用しながら、プライバシーに配慮している。</p>	<p>・他の自治会には事業所の現状・状況がわからないのではないかな。</p> <p>・あいの里交流センターの職員も含めて、来客者に積極的にしっかりと挨拶・声かけをした方がいい。声をかけてくれた方が、次の機会にも入りやすい雰囲気になる。</p>	<p>引き続き、困りごと相談があった際のプライバシー配慮のために、建物内で空いているところすべてを柔軟に活用していく。</p> <p>すべての来客者には、今まで以上に積極的にしっかりと声掛けし、来所者の目的を確認し、事業所内へ導く。</p>
B. 事業所と地域のかかわり	<p>コロナ禍で途切れつつあった地域との交流・絆を改めて強くし、コロナ禍前に戻せるように努める。</p> <p>事業所として職員や利用者は地域の行事・イベントに積極的に参加する。</p> <p>引き続き、困りごと相談があった場合には、来所だけではなく電話・訪問等により、相談を受け付ける。</p> <p>社協だより・事業所だより等の広報で、事業所が困りごと相談の窓口になっていることを引き続き地域にPRしていく。</p>	<p>地域行事をできる限り復活させる方向で、夏祭りを開催した。</p> <p>事業所外の行事にも参加するようにしている。</p> <p>清流の里だよりだけではなく、社協だよりも使って行事等のお知らせをしている。</p> <p>地域の方々も参加型の清流の里行事（敬老会）の際に地域の方々に吹奏楽や踊り等の芸能を披露していただいた。</p>	<p>特に無し。</p>	<p>引き続き、コロナ禍で途切れつつあった地域との交流・絆を改めて強くし、コロナ禍前に戻せるように努める。</p> <p>引き続き、事業所として職員や利用者は地域の行事・イベントに積極的に参加する。</p> <p>引き続き、困りごと相談があった場合には、来所だけではなく電話・訪問等により、相談を受け付ける。</p> <p>社協だより・事業所だより・ホームページ等の広報で、事業所が困りごと相談の窓口になっていることを引き続き地域にPRしていく。</p>

<p>C. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>「清流の里だより」を通して、事業所の日々の取り組みや役割・機能について周知し、コロナ禍で弱まった地域の方々と事業所のつながりが復活できるように努める。 ICT 機器を活用し、直接会場に行けなくても、オンラインビデオ等で地域の方々等とのコミュニケーションができるようにする。</p>	<p>定期的に清流の里だよりを発行できている。内容としては、事業所の日常や行事のお知らせ、困りごと相談窓口についてなどを掲載している。 以前に比べると、ICT 機器をうまく使えるようになったので、それらを活用しながら、離れた場所とつなげてビデオ通話やオンライン会議等ができるようになっていく。</p>	<p>特に無し。</p>	<p>引き続き、コロナ禍で弱まった地域の方々と事業所のつながりが復活できるように努める。 引き続き、ICT 機器等を活用し、直接会場に行けなくても、オンラインビデオ等で地域の方々等とのコミュニケーションができるようにする。 コロナ禍で開催見合わせになっていた地域行事や地域の人々とかかわる機会が、再開したものには積極的に参加していく。</p>
--	---	--	--------------	---

<p>D. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>コロナ禍前に戻せるよう、運営推進委員の方々と協力しながら介護サービスの提供と地域課題への取り組みを実施する方法について、協議・検討を重ね、地域とのつながりが途切れないようにしていく。</p>	<p>コロナ前の活動状態に戻すべく、運営推進委員の方々にご協力いただきながら、積極的に行事等を実施するようにしている。 感染症対策を講じながら、地域交流行事や事業所行事の開催、地域行事への参加をするようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の困りごとが議題にあがることがない（ほぼない）。</li> </ul>	<p>コロナ禍前に戻せるよう、引き続き、運営推進委員の方々と協力しながら介護サービスの提供と地域課題への取り組みを実施する方法について、協議・検討を重ね、地域とのつながりが途切れないようにしていく。 地域の困りごとを発見できるよう、広報活動や地域のつながりの中で情報を集める。</p>
<p>E. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>社協全体で災害時等業務継続計画（BCP）策定委員会にて計画を作成し、運営推進会議でも報告・周知する。 災害・感染症等はいつでも起こり得るため、防災・災害対策については、下記の取り組みを引き続き継続する。 災害等、有事のための備蓄については継続していく。 引き続き、清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練について、さらに協働できる事項については必要に応じて随時、協議・整理していく。</p>	<p>BCPについては策定できている。コロナだけではなく、他の感染症への対策も兼ねて、消毒や防護資材などの備蓄は十分にできている。 R5年度は9/11に地域のご協力を得ながら避難訓練を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練の実施状況がわからない。</li> <li>・夜勤者が1名なので、水害の際は避難で事業所には誰もいなくなるはずである。そのような状況下で、事業所がどれだけ頼りになるかわからない。</li> <li>・防災計画、BCPの内容を読んで、災害等の際にどのように対応するのか詳しく書いてあり、よくできていると思った。</li> </ul>	<p>災害・感染症等はいつでも起こり得るため、防災・災害対策については、下記の取り組みを引き続き継続する。 災害等、有事のための備蓄については継続していく。 引き続き、清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練について、さらに協働できる事項については必要に応じて随時、協議・整理していく。また、訓練の実施については運営推進会議で報告する。 BCPについては、必要に応じて適宜見直ししていく。</p>

